

城かべ ボンド、シーラー



縁の下の力持ちとして活躍する、城かべシリーズ専用の補助材料二品。
 シーラーは下地調整プライマー、下地の水引きとアクを抑えて、
 しっくいノビを良くし、楽に、きれいに仕上がり、剝離を防止します。
 ボンドは接着硬化材、しっくいの表面硬度、接着性、
 耐水性の向上に優れた効果を発揮します。

- どちらもしっくい以外の材料にも応用可能です。
- しっくいが付着しにくい下地や古壁の塗り替えも、
シーラー塗布で可能になります。
- パターン仕上げや吹き付けには、ボンドは必需品です。

商品概要

①品名	城かべボンド	城かべシーラー
②性状	白色乳液状	白色乳液状
③主原料	アクリル系エマルジョン	アクリル系エマルジョン
④荷姿	500cc.ポリ袋ケース30本詰	500cc.ポリ袋ケース30本詰
⑤用途	表面硬度・接着強度・耐水性付与、 しっくいの特殊工法	下地の水引緩和・アク止め、接着強度付与
⑥用法	しっくい製品に混入	清水で希釈、下地表面に塗布
⑦塗面積	16.5㎡(5坪) ※城かべ20kg1袋に1本使用の場合	16.5㎡(5坪) ※モルタル下地に3倍液塗布の場合

使用方法

- ① 必要量の練り水にポンドを溶かし、城かべシリーズの粉体製品を加えて混練します。(ポンドが入ると流動性が増すので水は通常より多少すくなくしておきます。)
- ② ポンドを後から追加する時は、ポンドが偏らないように充分練りあわせてください。
- ③ 添加量は城かべシリーズの粉体製品一袋につきポンド(500g)一本を標準配合とします。2本以上使用する場合は骨材の混入が必要です。(城かべモルタルは不要)

※ しっくいの特施工法 ● 施工の手引きを参照してください。

施工上の注意

- ① 屋根工事(鹿子止め)や彫刻等の厚付けには、ポンドの使用は不可能です。
- ② ポンド混練後の材料は長期間の保存ができませんので早めにお使い下さい。
- ③ ポンドと油は混用できません。また油を添加済みの練り製品にはポンドは使用しないでください。
- ④ 一度凍結すると変質して使えなくなりますので、冬期の施工と保管に注意してください。
- ⑤ ポンドを混入した材料は固着しやすいので、用具は十分に洗浄して下さい。

試験項目(試験方法) (ポンド・シーラー共通)

①蒸発残分 (JIS-K-6828)	②粘度 (JIS-K-6828)	③希釈安定性 (JIS-K-6828)	④凍結融解試験 (JIS-K-6828)	⑤最低造膜温度
40.0%	15cPS	上澄み、沈降無し	異常無し	0℃

シーラー

施工要領

1. 希釈

- ① きれいな容器に城かべシーラー(500g)1本と水1ℓをいれ、攪拌して3倍液を作ります。
- ② 石綿ボードや古いしっくい壁など、平滑な下地の場合は、5~6倍に希釈して使います。(下地の状態によって必要なシーラーの濃度が変わりますので、一度試し塗りして濃度を決めて下さい。)

2. 塗布

- ① 施工面にまんべんなく塗布します。
- ② 塗布用具は普通の刷毛でもかまいませんが、スプレーまたはローラーバケが、ムラ無く塗れ、作業も楽です。
- ③ 施工面以外の場所に付着したものは、乾燥しないうちに濡らした雑巾で拭き取ってください。
- ④ 塗布後表面が完全に乾いてから、施工して下さい。(乾燥時間は季節や天候によって変わります。)

施工上の注意

- ① シーラーを原液で使用するとかえって接着不良を起こしやすいので、必ず所定の濃度まで薄めて使用してください。
- ② シーラー塗布後、長時間放置すると接着力が低下するので1~2日以内に施工してください。
- ③ 凍結させると変質して使えなくなりますので、冬期の施工と保管に注意してください。

製造



田川産業株式会社

〒826-0041 福岡県田川市大字弓削田1924番地

TEL 0947-44-2240

FAX 0947-44-8484